

2. 令和4年度一般活動計画（案）

本会の目的である「鋼橋技術の発展に寄与し、会員相互の交流を図る」ため、本年度に次の行事を実施する。

2.1 活動内容（案）

(1) 総会の開催

年度当初に以下の報告を行う。

- ・ 令和3年度の事業報告、決算報告および監査報告
- ・ 令和4年度役員紹介
- ・ 令和4年度の事業計画および予算計画の報告

(2) 研究成果報告

各研究部会の活動成果を報告書として会員へ配布する。

(3) 研究成果発表会の開催

令和3年度までの研究部会の研究成果発表会を開催する。

(4) 特別講演会の開催

内外の学識経験者、発注機関の関係者などを招き、鋼橋の発展に関する特別講演会を開催する。研究部会で計画される講演会も全体行事にふさわしい場合は特別講演会に含める。

(5) 見学会の開催

鋼橋の発展に役立つ見学会を場所、時期を考慮して通常年2回開催する。ただし、今年度も新型コロナウイルス感染症の情勢によっては、中止とする場合がある。

(6) 特別会員連絡会の開催

本会の運営及び研究活動に関する助言を受けるため、特別会員連絡会を年1回開催する。

(7) 法人代表者連絡会の開催

本会の運営及び研究活動に関する重要課題を討議するため、必要に応じて法人会員連絡会を開催する。

(8) 技術委員会の開催

研究部会の活動を推進するため、技術委員会を年2回開催する。

(9) 運営幹事会の開催

本会の運営を円滑に行うため、原則として月1回運営幹事会を開催する。

（6月と8月と1月は休会）

(10) 他の研究会との交流他

- ・九州橋梁・構造工学研究会 (KABSE) と報告書等の交換を中心に交流を進める。
- ・北海道土木技術会鋼道路橋研究委員会と報告書等の交換を中心に交流を進める。
- ・東海構造研究グループ (SGST) と報告書等の交換を中心に交流を進める。

(11) その他

1) 広報活動の充実

パンフレットの配布、ホームページ等を通じて「鋼橋」ならびに「本研究会の活動」に対する理解を広めていく。

また、その研究成果を広く情報提供できるように、報告書等はホームページ上への公開を進める。

2) 懇親会の開催

上記各行事の機会を利用して、会員相互の親睦を図るため懇親会を開催する。

令和4年度スケジュール（案）

令和4年	6月	令和4年度定期総会、特別講演会、見学会（令和4年度 第1回）
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	技術委員会（令和4年度 第1回）、研究成果発表会
	11月	見学会（令和4年度 第2回）
	12月	
令和5年	1月	
	2月	
	3月	役員選挙
	4月	技術委員会（令和4年度 第2回）、特別会員連絡会
	5月	
	6月	令和5年度定期総会、特別講演会、見学会（令和5年度 第1回）